越前市議会だより

第86号
令和８年（2026年）11月13日（金）
編集・発行：越前市議会

越前市議会　検索
または、
こちらをご覧ください。⇒

―― みんなでつくる　幸せな未来 ――

題字は、武生東高校　山本真帆さんに
書いていただきました。



利用者にとって安全で快適な環境を整えるための
武道館の耐震化・空調設備工事が完了し
避難所としての運用についても説明を受けました。

議長・副議長・教育厚生委員が現場を確認しました。

9月定例会での議案審査の一部をお伝えします

今回の深掘り議案審査①

議案第55号 令和8年度越前市一般会計補正予算（第4号）のうち

「農作物鳥獣害防止対策推進事業」

事業の概要

有害鳥獣捕獲数の増加に加え、簡易的集合埋設設備による処分数が計画どおり進んでいないため、焼却処分に係る手数料を増額します。

本会議での質疑

Q 簡易的集合埋設設備とは、どのような設備か。

A 大型円柱状のコルゲート管を約3メートルの深さまで地中に埋設し、井戸状の施設の中で捕獲したシカやイノシシなどの有害鳥獣を自然分解させる設備である。焼却費用の節減に加え、死体の埋設に要する労力を省力化できるため、地域住民の負担軽減につながるものであると考えている。

Q 処理数が計画どおり進んでいない理由は。

A 市は、令和7年度に市内3カ所に設備を設置した。設置に当たっては、地権者や区長の了承を得て進めたが、設置後に一部住民から稼働に反対する声が上がったため、3基全てが休止している状況である。このため処理が進んでおらず、現在は利用再開や移設に向けて地域住民への説明を行っている。

Q 設備の設置数と費用は。

A 設備は、令和7年度に設置した3基である。設置費用は、1基当たり約100万円である。

Q 地域住民の負担軽減や焼却費用の削減につながる設備であり、地域住民の理解を得て早期に活用すべきと考えるが、今後どのように対応していくのか。

A この設備は、全国的にも先進的な取り組みであり、現段階では実証的な事業である。令和7年度に導入した3基に加え、本年度新たに設置予定の2基の運用状況も踏まえながら、有用性のある設備として活用を進めていく考えである。また、地域住民の理解が必要不可欠であることから、設置に向けて丁寧な説明を行っていく。

今回の深掘り議案審査②

議案第59号 令和7年度越前市一般会計歳入歳出決算の認定について のうち

「福祉避難所支援事業」

事業の概要

災害時に避難行動要支援者を受け入れる福祉避難所の機能強化を図るため、県補助金を活用し、各施設が必要とする資機材の整備に要する費用を補助するものです。

本会議での質疑

Q 障害者施設、高齢者施設にかかる福祉避難所支援事業補助金の内容は。

A 補助率は、対象経費の10分の10であり、県が2分の1、市が2分の1を負担する。1施設当たりの補助上限額は、50万円である。
障害者施設では、2事業所に対し、ワンタッチテントやトイレ用パーソナルテントなど総額81万8,000円を補助した。
高齢者施設では、補助を希望した8法人15事業所に対し、簡易トイレや簡易ベッド、非常用発電機など総額319万3,000円を補助した。

Q 福祉避難所としての協定締結数およびその内容は。

A 高齢者施設28事業所、障害者施設3事業所と協定を締結している。
協定では、大規模地震や風水害その他の災害が発生した場合に、自宅や広域避難所等での避難生活が困難な高齢者や障害者などの要配慮者を受け入れるため、専門的なケアおよび宿泊機能を有する福祉施設を福祉避難所として開設し、運営に関する協力事項および受入れに必要な手続を定めている。

議案の深掘り

今回の深掘り議案審査③

議案第64号 越前市情報公開条例の全部改正について

議案の概要

デジタル時代に適応する新しい情報公開制度として見直しを行うため、越前市情報公開条例の全部を改正するものです。

【主な改正内容】

1 電子メール等による開示方法の追加

閲覧やコピー、電磁的記録媒体（CD－Rなど）を送る方法に加え、電子メールなどのインターネットツールを利用して電子化した文書を送ることができるようにするもの

2 受益者負担等を考慮した手数料の設定

（1）電子データで文書を開示する場合の費用

国の制度を参考に新たに定めるもの。これまで実費としていただいていたコピー代なども含め、手数料として整理するもの

（2）情報公開制度の利用に係る手数料

情報公開制度を利用する人としない人との負担の公平性の観点から、開示を受ける人に手数料の負担を求めるもの

手数料は、300円（市民等については0円）に、上記（1）の実費相当額を加えた額とする

・300円は、国や他自治体の情報公開制度の手数料を参考にした額
・市民等は、市税などを通じて行政サービスの費用を負担していることを考慮し、手数料は徴収しない。
・市民等とは、市民のほか、市内に通勤、通学する者、市内に事務所等を持つ者、市内に固定資産を所有する者
・郵送による開示を希望する場合は、手数料とは別に郵送料を負担

3 情報公開・個人情報保護審査会の権限等を条例化

本会議での質疑

Q 年間の情報公開請求件数は。そのうち市外企業からの営利目的と思われる請求件数は。

A 近年の情報公開請求件数は年間50～70件程度である。令和7年度の情報公開請求53件のうち35件が市外からの請求で、市外企業による営利目的とみられる請求は24件（約45％）であった。

Q 公開情報の事務作業に要する平均時間は。

A 請求受付から文書の特定、不開示情報のチェックやマスキング処理、開示決定に至る手続、文書のコピーやメール送信などを含み、案件の内容によって差はあるものの、1件当たり平均約1時間30分を要すると推定している。

Q 大容量の電磁的記録に対する請求が相次いだ場合、現場職員の審査事務負担と手数料収入との間でギャップが生じることが懸念されるが、必要に応じて手数料体系や運用の見直しを行う考えはあるか。

A 今回の条例改正では、これまで無料で提供していた電子データの開示について、受益者負担の考え方に基づき、開示事務に要する経費の一部を負担してもらうこととしている。制度の運用に当たっては、市民の知る権利に十分配慮しながら、適正かつ円滑な情報公開に努める。
施行後も、請求件数や請求内容の傾向、事務負担の状況などを継続的に把握し、制度が適切に運用されているか検証する。新たな課題が生じた場合には、国や他自治体の運用状況も参考にしながら、必要に応じて運用方法等を検討する。

ふくいの党 越前
髙橋佳津幸（たかはしかつゆき）議員



市長の感じた本市の課題と展望

Q 市民との触れ合いから見えた本市の課題と展望は。

A できる限り多くの現場に足を運び、様々な声に耳を傾けてきた。本市には、誇るべき「人の力」と「地域の宝」が数多くあるが、その魅力が十分に知られていない。対話を大切にしながら、「創造都市・越前市」の実現に全力で取り組む。

空き地・空き家の現状

Q 令和７年度空き家実態調査の内容は。また、空き家の流通ができていない要因とその対策は。

A 職員が現地にて目視により外観等を調査し、1,487 戸の空き家を確認した。令和２年度より約１割増加した。流通できていない要因の一つとして、所有者が空き家に対して関心が低いことと認識している。固定資産税の納税通知書にチラシを同封するなど周知をし、地域や事業者などと密に連携を図っていく。

その他の質問

○総合計画におけるウェルビーイングの位置づけ

誠和会
川﨑俊之（かわさきとしゆき）議員



市の奨学金制度

Q 市として返済不要の奨学金制度、給付型奨学金制度を創設してはどうか。

A 本市では、無利子の奨学金貸付に加え、卒業後に市内へ定住した場合、償還金の一部を免除[※2]している。市独自での給付型奨学金制度については、国・県の支援制度との役割分担を踏まえながら、どのような世帯や若者に支援が十分届いていないのか、また、進学時の経済的負担の軽減に加え、本市の将来を担う人材の育成という観点も含め、本市としてどのような支援が効果的であるのかを検討していきたい。

中学校の地域クラブの現状

Q 指導者の確保や送迎の保護者負担等、本市の課題は。

A 本年度、民間の指導者 83 人、兼業の教職員 81 人で必要な人数は確保しているが、「地域クラブ活動」が継続可能な活動となるためには、指導者研修を受けた優れた指導者の確保が課題である。また、生徒の送迎は保護者の理解と協力が必要であり、継続的な活動場所の確保も課題である。

その他の質問

○獣害対策

会派 郷創
岩坂昭宏（いわさかあきひろ）議員



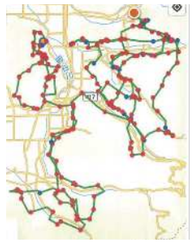
鳥獣害対策

Q 本市の鳥獣害の最新状況は。

A シカ、イノシシについては増加傾向に歯止めがかかっていないが、農作物被害については令和６年の約 32 ヘクタールから令和７年の約 30 ヘクタールへと微減に転じている。

Q サルによる被害について、具体的な対策は。

A 越前Ｃ群の個体数は、令和６年度調査の 32 頭から増加しているものと考えている。令和８年度に 15 頭以上の部分捕獲を行い、被害状況が改善しない場合は令和９年度以降に全頭捕獲を検討する。



▲ 越前C群(サルの群れ)の位置情報
出典：市ホームページ

Q 捕獲した有害鳥獣の処分は。

A 令和７年度から簡易的集合埋設設備を設置しており、１頭当たりのコストは焼却処分より有利である。設置に当たっては、地域住民に対し丁寧な説明を行い、不安の解消を目指していく。

会派 創至
能勢淳一郎（のせじゅんいちろう）議員



災害時の車中泊避難

Q 車中泊避難場所の運営は誰が行うのか。

A 現在、避難所運営マニュアルでは車中泊避難場所の運営手順までは定めていない。今後、受付方法、避難者把握、物資配布、健康管理等について、車中泊避難者への対応をマニュアルへ位置付ける必要があると考えている。

地域猫活動

Q 地域猫活動は、住民、ボランティア、自治体の三者連携と良好な関係が必須だが、ボランティアの負担が大きい。市の考えは。

A 市の野良猫不妊手術費補助制度を利用されるボランティアの方々には、手術費用の一部負担など多大なるご助力をいただいていると認識している。志の高いボランティアの方々の協力により地域猫活動は成り立っている。

市民ネットワーク
前田利隆（まえだとしたか）議員



学校給食の「質」の維持・向上

Q 支援基準額を超えて食材価格が上昇した場合、給食の質を確保するための対応策は。

A 旬の食材や地場産食材の活用、食材の組合せや調理方法の工夫などにより、栄養価、おいしさ、安全性の維持に努めている。現場の工夫だけでは困難となる場合には、保護者負担の過度な増加を招かないよう、公費負担を含めた必要な対応を検討しながら取り組んでいく。

地域クラブ活動における困窮世帯への支援

Q 地域クラブ活動における経済的困窮世帯への補助・支援策の実施状況は。

A 経済的困窮世帯の生徒への支援については、生活保護世帯や住民税非課税世帯、その世帯に準ずると認められる世帯の生徒や保護者が「地域クラブ活動」に支払った参加料や保険料を、就学援助[※1]費と同じく償還払いする補助制度があり、対象となる 80 名に案内文を送付した。

その他の質問

○情報公開制度の見直し

9月定例会 一般質問

今定例会では、17 人の議員が９月７日から９日までの３日間、一般質問を行いました。

質問項目の中から質問・答弁を要約し、掲載しました。

二次元コードを読み取ると、各議員の録画映像をご覧いただけます。

前田　利隆　議員 …… 4
能勢淳一郎　議員 …… 4
岩坂　昭宏　議員 …… 5
川﨑　俊之　議員 …… 5
髙橋佳津幸　議員 …… 5
加藤　吉則　議員 …… 6
吉澤　尚史　議員 …… 6
岸本　馨　議員 …… 7
井上真知子　議員 …… 7
畑　勝浩　議員 …… 7
土田　信義　議員 …… 7
三田村忠邦　議員 …… 8
松本　照美　議員 …… 8
吉田　啓三　議員 …… 8
若宮　浩一　議員 …… 9
川崎　悟司　議員 …… 9
橋本弥登志　議員 …… 9

※一般質問を行った順に掲載

用語の解説

※2　定住化促進のための市奨学金一部償還免除制度
市奨学金の貸し付けを受けた人が、大学等卒業後に市内に定住した場合に、奨学金の償還金の一部を免除する制度。対象者が在学中に貸し付けを受けた奨学金に対して、償還計画に基づくその年度の償還額の２分の１以内の額を免除する。ただし、その年度の償還免除額は、貸付総額の 20 分の１の額を上限とする。

用語の解説

※1　就学援助制度
経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し、就学に必要な学用品費や学校給食費などを市町村が援助する制度。生活保護を受けている世帯や、児童扶養手当を受給している方などが対象となる。援助の内容は、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、スクールランチ費など。

市民ネットワーク
土田信義 議員



市の計画に基づく公共施設の削減

Q 高度経済成長期に公共施設等を集中的に整備してきた。しかし、今後の人口減少による税収減や少子高齢化による社会保障費の増加が見込まれる中、公共施設等の改修や建て替えのための財源確保は困難と考え、公共施設の削減計画※4を策定。内容は、今後40年間で3割削減。策定から10年が経過したが、進捗は。

A 平成29年度の計画開始から令和7年度の末までの9年間で延べ床面積約14,238平方メートルを削減した。進捗率は13.4%である。

Q 学校の適正規模・適正配置については。

A 子どもたちにとって、より良い学びの環境を整えるかを最優先に検討していく。



▲ 令和13年度の市内の小学校児童数の見込み

※掲載画像の拡大版は、下記二次元コードから録画配信をご覧ください。

その他の質問

○現在閉鎖中の「しきぶ温泉湯楽里」の今後

ふくいの党 越前
畑 勝浩 議員



生活圏の中型獣対策

Q 鳥獣被害は農作物だけでなく、人身被害や生活環境被害もある。市民全体の問題として、今後の獣害対策を広げていく考えは。

A 農作物被害だけでなく、人的被害や空き家に住み着く中型獣など、市内全域の問題と認識している。市民と力を合わせ、総合的に取り組んでいく。

Q アライグマなど中型獣の生息状況を把握し、市民と行政が協力して被害を減らす具体的な取り組みを始めるべきでは。

A 中型獣も市民の生命や財産に関わる問題である。農林部門だけの問題とせず、空き家や教育など関係部署とも調整し、全庁体制で解決していく。



その他の質問

○サンドーム福井の観光活用

会派 郷創
井上真知子 議員



多動傾向や不登校傾向の児童生徒への対応

Q 教育補助員は、現在、何人いて、どのように配置されているのか。

A 本年度、教育補助員は53人配置しており、小学校に39人、中学校に14人となっている。多動傾向や不登校傾向の児童生徒、外国にルーツのある児童生徒、医療的ケアが必要な児童生徒への対応など多岐にわたる。

県立美術館を越前たけふ駅周辺に移転する構想

Q 県立美術館は、老朽化しており、アクセス面でも不便である。福井県のほぼ中間に位置し、アクセスの良い越前たけふ駅周辺に、丹南地域に集積する世界に誇る伝統工芸と合わせ、県全体の文化芸術、観光交流拠点としての県立美術館の移転を、県に要望してはいかがか。

A 本市として、越前たけふ駅周辺に、交流や創造、展示機能を備えた「ものづくり文化の拠点」整備を県に要望している。

用語の解説

※4 市公共施設等総合管理計画

市が保有する公共施設等の状況、更新費用の見込みと基本的な方向性を示す計画のこと。本市では平成28年度に策定した後、国の計画見直しの指針を受け、令和3年度に計画の一部を改訂した。計画の対象範囲は、学校、公営住宅、集会施設、道路、上下水道等、本市が所有する全ての公共施設等。

会派 創至
岸本 馨 議員



吉野児童館の放課後児童クラブの対応

Q 来年4月1日に越前市よしのこども園が開園されるに当たり、現在、吉野児童館で実施されている放課後児童クラブを利用する児童の保護者から心配の声が聞かれるが対応は。

A 9月の補正予算において、夏場の熱中症対策として吉野児童館内の遊戯室に空調設備を整備する。さらに現在、借用している吉野幼稚園の遊戯室を継続使用することにより約338平方メートル（児童204人分）の面積を確保できることから、当面の間、児童が増加した場合でも、対応可能であると考える。

公共施設の跡地利用

Q 公共施設の跡地利用に対する市の見解は。

A 行政目的での活用の可能性を検討することを基本としており、その上で当該跡地の立地条件や周辺環境、地域のニーズ、土地の所有形態などを踏まえながら個別に活用方法を判断している。

その他の質問

○地域の減災、防災

市民ネットワーク
吉澤尚史 議員



外国人児童生徒に対する現状認識

Q 外国人児童生徒への日本語教育の体制と費用は。

A 日本語指導が必要な外国人児童生徒は、令和8年8月1日現在、304人中182人である。支援体制として、外国人教育担当教諭9人、外国人児童生徒学習指導員6人、日本語初期指導員3人、アクセスワーカー7人、日本語基礎指導員7人、多文化共生コーディネーター35人を配置している。関連経費は、人件費や多言語翻訳機などを含め、約8,850万円である。

Q 多くの人員が関わっているが、人員は足りているか。

A 十分とは言えず、増員が必要と考えている。

Q 外国人を雇用する企業等の協力態勢は。

A 多文化共生推進事業連絡会を通じて企業の支援等について研究していく。
（意見）日本語教育に要する年間経費は、1人当たり約30万円にもなるが、予算はまだ不足とのこと。今後の取り組みに課題が残る。

諸派（日本共産党）
加藤吉則 議員



米価暴落に対する救済策の実施を

Q 昨今の物価高騰に対して農業関連資材、燃油などへの支援措置を早期に実施してもらいたいが、いかがか。

A 昨今の農業用資材価格の高騰は、農業経営に大きな影響を及ぼしていることから、必要な支援の実施について、令和9年度の重要要望※3においても国・県へ要望している。

Q 今のまま情勢が推移すれば、さらなる離農者が増大していくと推測されるが、どう考えるか。また、離農防止策は。

A 資材費の高騰や米価下落は、さらなる離農者の増大につながりかねず、本市の農業生産基盤を維持していくうえでも大きな課題と認識している。米価と農業所得の安定は、国の責任で再生産可能となるよう必要な対策を講じるべき。市としては、国・県の経営安定対策を最大限活用するとともに、農業機械等の導入支援、新規就農・後継者確保など、農業者が農業を継続できる環境づくりに取り組み、離農防止と地域農業の維持に努めていく。

その他の質問

○鳥獣害の軽減をめざして

用語の解説

※3 重要要望

生活基盤の整備や市民生活の安全確保と質的向上を図るため、毎年、県に提出する要望書のこと。令和9年度に向けては、ユネスコ創造都市ネットワーク加盟等を契機としたものづくり文化の継承・発信、北陸新幹線越前たけふ駅の利便性向上、広域的な防災体制の強化、道路ネットワークの整備促進、こども子育て支援の充実の5項目の最重点事項のほか、18項目の重点事項を要望した。

市民ネットワーク 橋本弥登志（はしもとやとし）議員



今回の市議会議員選挙

Q 今回の期日前、当日の投票率は前回と比べてどうだったのか。

A 期日前は 26.57％ 当日は 24.79％で合計 51.6％であった。前回と比較して約 11％低くなり、過去最低の投票率となった。

Q この投票率を選挙管理委員会はどう考えているのか。

A 投票率の低下は、全国的な地方選挙への関心低下と若者の市政離れなどが考えられる。

Q 地区間でのばらつきは。

A 最高が 73.24 ％、最低は 39.88％となっており、候補者がいない投票区や若い世代が多い投票区は低い傾向が見られた。

Q 投票率向上に向けた取り組みについての検討は。

A 投票率向上に向けた環境づくりは選挙管理委員会の重要な役割なので、投票区の見直し、共通投票所、移動投票所についての調査・検討を進めている。

Q 主権者教育※6は全庁的対応が必要ではないか。

A 地域ミーティングなどさまざまな機会で主権者教育を進めていきたい。

その他の質問

○児童館の管理

会派 郷創 川崎悟司（かわさきさとし）議員



自主防災組織の今後の在り方

Q 自主防災組織の結成以来、時間が経過し形骸化してきている現状を踏まえ、今後の在り方についてどのように進めていくのか。

A 平成 19 年度から 23 年度にかけて設立支援や資機材整備を進め、ほぼ全町内会で自主防災組織が結成された。人口減少や高齢化、担い手不足などにより、活動状況に差が生じていることは認識している。今後も従来の町内単位の活動を地域防災の基盤としながら、地区自治振興会を中心とした地区単位の支援体制の強化を進めることで、持続可能な地域防災体制の構築を図っていく。

デジタル化の推進

Q デジタル化を推進するための全体的課題は。

A 人材確保とシステム構築・運用費用が課題である。人口減少や職員数が限られる中、持続可能な行政運営の実現や社会課題の解決のためにはＤＸの推進が不可欠である。今後の情報技術の進展や費用対効果を見極めながら、必要なシステムについては、国の交付金や有利な起債の活用により導入を検討していきたい。

その他の質問

○市のハザードマップ

会派 創至 若宮浩一（わかみやこういち）議員



変化する放課後環境に対応した『子どもの居場所づくり』と『多様な体験・学びの場』の創出

Q 下校時間の早期化、部活動の地域展開など、変化する放課後を「地域に見守られ、多様な人や体験と出会い、豊かに育つ時間」へ転換していくことは、本市の未来をつくる最も価値ある投資である。地域全体のあらゆるリソースを結集した「全庁的・全域的なネットワーク」として力強く推進していくことが不可欠と考えるが、市長の所見は。

A 本年度だけでも、「らくまるパーク」、「e ☆ SPARKLE」、「現代の寺子屋」等、遊びや学び、体験の場が数多く設けられているが、今後も明るく誰もが楽しい子育て・教育環境の充実を図り、子どもたちが自分らしく輝くことができる越前市を目指したい。



市民ネットワーク 吉田啓三（よしだけいぞう）議員



越前市における企業誘致

Q データセンター誘致によって本市はどれだけの金額を補助し、本市にどれくらいの税収が生まれるのか。

A 本市の補助額は総額約 3,700 万円となり、固定資産税などの収入は年間約 2,500 万円を見込んでいる。

Q 越前たけふ駅周辺は魅力ある土地だが、商業施設など新たに進出する企業は聞こえてこないが、なぜこのような状況なのか。

A 現在、福井村田製作所の研究開発センターが開業し、今後ホテルなどが開業すれば、一般市民や宿泊者、観光客などの昼間人口が増えることから、事業者は需要を見ている状況であると考える。

危険空家の現状と対策

Q 危険空家は積極的に解体していくべきと考えるが市の考えは。

A 市民の生活環境に大きな悪影響を及ぼすため、所有者不明のものも含め早期に除却などの対策を行う必要がある。

会派 郷創 松本照美（まつもとてるみ）議員



認知症予防と支援体制

Q 市が取り組む予防施策は。

A 本年５月から運用開始した『脳の健康度チェックアプリ』の普及に取り組んでいる。
自宅で利用できるほか、本庁舎２階の健康ステーションでも利用できる。健康ステーションでは口腔機能検査も実施。脳の健康度チェックにより認知機能の低下がみられる方を早期に把握し『脳活チャレンジ教室』への参加につなげている。

▲脳の健康度チェックアプリ

Q 認知症になった後の対応やサービスは。

A 介護保険制度により要介護認定を受けた後、訪問介護・デイサービス・ショートステイ・福祉用具の貸与・認知症対応型共同生活介護などのサービスが利用できる。

その他の質問

○育児中の転入世帯の孤立化防止
○災害時の対応

会派 創至 三田村忠邦（みたむらただくに）議員



越前たけふ駅周辺開発における動向

Q 今後の開発における具体的な内容と進捗状況は。

A ㈱福井村田製作所の研究開発センターが開業し、㈱共立メンテナンスによるホテル・温浴施設も事業化に向け検討が進められている。未来創造基地は、事業化に向けた条件整備を進めている。

Q データセンター※5の誘致は。

A 候補地は未定だが、事業者からの問い合わせはある。

味真野地区のまちづくり

Q オーベルジュ建設（余川町）による観光プランとの連携は。

A 観光客の受け皿となり、伝統工芸や地元食材を活用した地域との連携や、地域経済の活性化を期待している。

Q 万葉館横の資料館の有効利用の考えは。

A 文化資料の収集・保存を行う文化財収蔵庫として使用しており、今後もその役割を生かしていく。

その他の質問

○国土強靭化地域計画の改定

用語の解説

※6 主権者教育
国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していく主権者を育成していくこと。また、文部科学省では、主権者として社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の構成員の一人として主体的に担うことができる力を身に付けさせることとしている。

用語の解説

※5 データセンター
インターネット用のサーバやデータ通信、固定・携帯・IP 電話などの装置を設置・運用することに特化した建物の総称のこと。（出典：日本データセンター協会ホームページ）

委員会で詳しく審査

教育厚生委員会

委員選出と業務発注の公平性の確保を

Q しきぶ温泉湯楽里あり方検討委員会の委員構成は。

A 委員は外部委員5人、内部委員2人の計7人を予定しており、外部委員については、公共施設マネジメント、財務会計、建築関係、および機械設備に関する専門的知見を有する者を選任する予定である。

Q 温浴施設特有の設備に関する専門性の確保は。

A 温浴施設を含む設備全般に精通した専門家の選任を検討しており、浴室の壁面改修に際して助言をいただいた関係者を予定している。

Q 施設のあり方検討に係る調査・検討業務と、経営分析業務を分割して発注する理由および発注方式は。

A 専門委員会の運営支援や現況整理、アンケート調査、将来シナリオの作成等の業務については、複数の事業者による競争性を確保するため、指名競争入札により事業者を選定する。

また、経営分析業務については、地方公会計や公共施設マネジメント、財務シミュレーションなど高度な専門性が求められることから、随意契約により、専門的知見を有する事業者に委託する予定である。

Q 見積りの徴取方法および随意契約における見積額の妥当性は。

A 県内で対応可能な事業者が限られていることから1者見積りを徴取したが、県外事業者の事例等も参考にしながら適正な契約手続きに努める。

委員会で審査した議案

- 市子ども医療費の助成に関する条例等の一部改正について
- 市就学前教育・保育施設設置及び管理条例の一部改正について
- 市立学校設置及び管理条例の一部改正について
- 令和8年度越前市一般会計補正予算（第4号）

総務委員会

誰もがアクセスできる市政情報を

Q 市民等と市民等以外の者で情報公開請求に係る手数料を区分することについて、知る権利の保障の観点から問題はないのか。

A 市民等については手数料を徴収しない一方、市民等以外の者には300円の手数料を求めることとしている。知る権利や行政の透明性に配慮し、国や他自治体の状況を参考に許容される額として設定した。

（要望）知る権利に十分配慮しながら、市内外を問わず多くの人が市政情報にアクセスできるよう、積極的な情報公開と発信に努められたい。

委員会で審査した議案

- 市情報公開条例の全部改正について
- 令和8年度越前市一般会計補正予算（第4号）

その他条例案3件

改正後	手数料として徴収 手数料（固定額部分） 開示請求1件につき **300円（市民等については0円）** ＋ 手数料（実費相当額）	
	開示の実施方法	開示の実施に要する費用（実費相当額）
	閲覧	無料
	紙による交付	白黒　10円×ページ数 カラー 50円×ページ数
	CD-Rなどによる交付 **紙文書**	**媒体代＋10円×ページ数**
	CD-Rなどによる交付 **電子文書**	**媒体代＋210円×ファイル数**
	メール等による交付 **紙文書**	**10円×ページ数**
	メール等による交付 **電子文書**	**210円×ファイル数**

▲ 出典：全員説明会資料（令和8年8月24日）

クローズアップ徹底検証

産業建設委員会

安定した道路維持管理体制の確保を

Q 道路補修における、包括委託と市直営との業務範囲の違いは。

A 包括委託では、主に50万円以下の小規模修繕を実施しており、大規模な舗装改修工事等では、市が直接入札などにより発注している。あわせて、包括委託の導入により、年間2，000件を超える道路補修が実施されており、道路賠償案件の減少にも大きく貢献している。

Q 予防保全による計画的な道路管理への移行についての考え方は。

A 予防保全型の道路舗装の修繕は計画的に進めている。今後も、維持管理体制強化のため、財源確保に努めながら整備を進めていく。

Q 包括委託における舗装用アスファルト合材の取り扱いは。

A 今までは、市がアスファルト合材を調達していたが、来年度からは、材料調達についても包括委託に含めることで、補修の迅速化を図る。

Q 物価高騰等の価格変動への対応についての考え方は。

A 長期契約に伴う資材価格等の変動の対応については、物価スライド条項を適用した契約を結ぶ予定であり、5年間の契約中における価格変動に適切に対応する。

（要望）安定した道路維持管理体制を確保するため、適切な契約運用に努められたい。

委員会で審査した議案

- 市上下水道事業等の設置等に関する条例の一部改正について
- 市道路線の認定及び廃止について
- 令和8年度越前市一般会計補正予算（第4号）

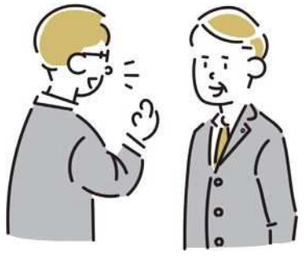
広報広聴推進特別委員会の発足

令和8年9月定例会において、議会活動に関する広報活動および市民の意見を把握するための広聴活動を行うとともに、広報広聴活動の充実と強化に向けた調査研究を進めるため、広報広聴推進特別委員会が設置されました。

9月25日開催の当委員会では、重点的に取り組むべき項目について協議しました。これまで行ってきた広報・広聴活動の課題を整理し、議会広報として、議会だよりの編集発行に加え、SNSの活用を、また、幅広い市民の声を受け止める広聴の取り組みとして、新しい「市民と議会との語る会」の在り方などについて、活発な議員間討議を行いました。

今後とも、議会活動に関する広報広聴活動の充実と強化に向け、行政視察等を通して、調査研究を重ねていきます





年賀状等あいさつ状の禁止について

公職選挙法により、議員が選挙区内に対し、年賀状などの挨拶状を出すことは、禁止されております。
ご理解とご協力をお願いします。

決算特別委員会で話し合ったこと

９月定例会では、決算特別委員会を設置し、前年度決算の認定について審査を行いました。専門的見地から議論を深めるため、３つの分科会を設け、審査を行いました。各分科会で行われた質疑を一部紹介します。

教育厚生分科会

●生活習慣病予防事業について

Q 本庁に設置の「健康ステーション」の利用状況は。

A 健康ステーションを令和６年６月に設置し、令和７年度末時点で利用者数は１，７６２人、延べ利用回数は３，３９１回となっており、目標としていた利用者数１，５００人を上回っている。

Q 利用者からの評価は。

A 利用者からは、測定結果の改善を励みに継続利用していることや、専門職による助言を受けることで、健康づくりへの意識が高まったとの声が寄せられているほか、口コミによる利用の広がりもみられる。

●小学校教育振興事業について

Q 水泳学習の実施状況および対象者は。

A 令和７年度は、市内17小学校の全児童３，９１０人を対象に、民間事業者の温水プールを活用した水泳学習を実施した。

Q 水泳学習委託の内容および指導内容は。

A 委託料には、温水プールまでの送迎バス代およびインストラクターによる水泳指導に対する報酬が含まれている。また、児童の発達段階や泳力に応じて、水に慣れる段階から専門的な指導を行っている。

●その他の質問

・重層的支援体制整備事業（介護）
・夢ある子ども育成事業
・包括的支援事業及び任意事業　など

産業建設分科会

●観光推進事業について

Q 観光資源の魅力を発信する方法および進め方は。

A 観光ＰＲについては、市観光振興プランに基づき、高付加価値旅行者や伝統工芸に関わるプロフェッショナル層に対する認知度向上、誘客の取り組みを進めている。そのほか、市観光協会によるＳＮＳやホームページの充実に取り組み、本市の魅力を発信している。

Q 本市の歴史や文化を活用した観光振興の考え方は。

A 昨年度、市内の神社仏閣における体験や御朱印等をまとめたパンフレットを作成するなど、歴史や文化を活用した取り組みを進めており、今後も市観光協会と連携しながら、地域資源を生かした観光振興に取り組んでいきたい。

●道路除雪対策事業について

Q 除雪協力業者のオペレーター不足への対応は。

A オペレーターの高齢化が進む中、除雪業者のニーズに応えるため、免許取得の一部を支援する制度や除雪機械の購入費補助制度を設けており、人材の確保に努めている。今後も建設業者が健全な経営を維持できるよう、環境づくりを進めながら、除雪体制の維持を図っていく。

●その他の質問

・森林環境譲与税事業　・企業誘致事業
・空き家対策事業　など

総務分科会

●地域交通対策事業について

Q デマンド交通実証実験の成果は。

A 登録者数は令和８年３月末時点で３，０５５人、年間利用回数は１０，６１０回となっており、いずれも前年度と比較して大幅に増加していることから、事業は順調に定着していると認識している。

Q 利用者の意見の把握状況および今後の運行のあり方は。

A 利用者の増加に伴い、特に午前中の予約が取りにくいとの声があることから、予約不成立の状況等についてデータ分析を進めており、市民の意見も踏まえ、令和９年度に向けた運行形態の検討を進めていく。

●自主防災組織育成事業について

Q 自主防災組織の形骸化が懸念される中、組織の見直しや継続的な運営体制の構築に向けた考え方は。

A 地域の実情に応じた地区防災計画の策定を進めている。計画では、役割分担や防災訓練の実施方針を明確にし、地区や各町内での課題については、必要に応じて見直しを図り、地域防災力の向上につなげていく。

●その他の質問

・ふるさと納税推進事業　・地域自治振興事業
・地域ブランディング事業　など

令和8年9月定例会　本会議　議決結果

９月定例会　全会一致の議案等

議案	件名	議決の結果
議案第 55 号	令和８年度越前市一般会計補正予算（第４号）	可決
議案第 56 号	令和７年度越前市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定
議案第 57 号	令和７年度越前市工業用水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定
議案第 58 号	令和７年度越前市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定
議案第 59 号	令和７年度越前市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第 60 号	令和７年度越前市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第 61 号	令和７年度越前市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第 62 号	令和７年度越前市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第 63 号	財政事情の作成及び公表に関する条例の一部改正について	可決
議案第 64 号	越前市情報公開条例の全部改正について	可決
議案第 65 号	越前市附属機関設置条例の一部改正について	可決
議案第 66 号	越前市認可地縁団体印鑑条例の一部改正について	可決
議案第 67 号	越前市子ども医療費の助成に関する条例等の一部改正について	可決
議案第 68 号	越前市就学前教育・保育施設設置及び管理条例の一部改正について	可決
議案第 69 号	越前市上下水道事業等の設置等に関する条例の一部改正について	可決
議案第 70 号	越前市立学校設置及び管理条例の一部改正について	可決
議案第 71 号	市道路線の認定及び廃止について	可決
議案第 72 号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
議案第 73 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
議案第 74 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
議案第 75 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
議案第 76 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
議案第 77 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
議案第 78 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
議案第 79 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
議案第 80 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
議案第 81 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
議案第 82 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
議案第 83 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
議案第 84 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
議案第 85 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
議案第 86 号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
議案第 87 号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
議案第 88 号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
議案第 89 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意

“親子de学ぶ”議会のはなし Vol.2

～みんなでつくる　幸せな未来～

市議会はいつ開かれるの？



未来（みらい）ちゃん

越前市議会は、３月、６月、９月、12月の年４回開かれます。
この会議を「定例会」といいます。
このほかにも、急いで話し合う必要があるときは、「臨時会」が開かれることもあります。



市議会にはどんな会議があるの？

市議会には、「本会議」と「委員会」があります。
「本会議」は、全ての議員が集まって話し合う一番大きな会議です。本会議では、市長が考えたまちづくりの計画やお金の使い方（予算）について話し合い、賛成か反対かを多数決で決定します。
本会議だけでは時間が足りないため、議員はいくつかのグループに分かれて、くわしく調べたり、ていねいに話し合ったりします。この会議を「委員会」といいます。

越前市議会には、次の委員会があります。
総務委員会、教育厚生委員会、産業建設委員会、議会運営委員会、
広報広聴推進特別委員会、決算特別委員会

会議はどのように進むの？

本会議 → 委員会 → 本会議 → 市役所



市長が予算や条例について説明し、議員はそれについて質問します。また、市政全般について、議員が質問をします。
進行は、議長が行います。



議員が３つの常任委員会に分かれ、市長が提案した内容について、くわしく調べたり、話し合ったりします。



委員会で話し合った内容を、もう一度、議員全員で確認します。そして、賛成か反対かを決めます。



市議会で決まったことをもとに、市長や市職員が、より良い越前市にするために仕事を進めます。

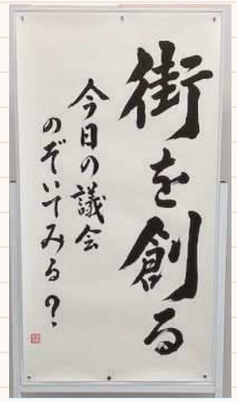
議長・副議長はどうやって決まるの？

議長・副議長に立候補した議員が、議場で、他の議員に対し議長・副議長になったら取り組みたいことについて発表します。その後、議員全員による議長選挙・副議長選挙を行い、それぞれの選挙で一番多く票を集めた人が議長・副議長に選ばれます。

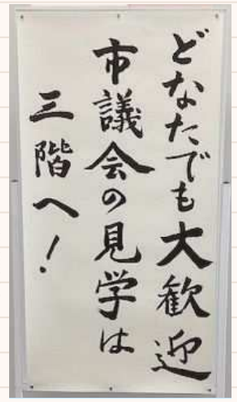


市議会の活動ニュース

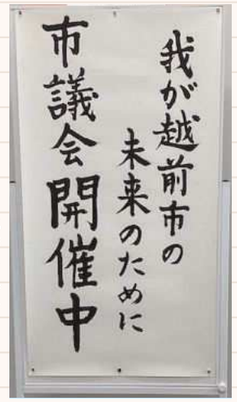
若い力で議会をより身近に　市内高校書道部が議会案内看板を揮毫（きごう）



武生高校　清水彗（しみずすい）さん　揮毫



武生東高校　南谷光璃（みなみだにひかり）さん　揮毫



武生商工高校　篠田梨央奈（しのだりおな）さん　揮毫

令和６年度から、議会だよりの題字揮毫や議会開催の案内看板の作成を武生高校、武生東高校、武生商工高校の書道部の皆さんにお願いしています。
今年度作成していただいた案内看板は、９月定例会から、庁舎１階入り口および３階議場前に掲示しています。
力強く、また議会に対して興味が惹かれるフレーズでの看板となっています。ぜひご覧いただき、傍聴にお越しください。

未来を創る子どもたちが議場を見学



▲ 白山小学校（10月２日）

市内の小学４年生の皆さんが議場に来てくれました。
児童の皆さんは、市議会の役割などについて各地区の地元議員から説明を受け、元気に質問をしていました。

議会モニターとの意見交換会（教育厚生委員会）



▲ 意見交換会（10月22日）

「高齢者の生活支援の推進」と「部活動の地域クラブへの展開」をテーマに、活発な意見交換を行いました。今回いただいたご意見を、今後の調査・研究活動に生かしていきます。

本巣市議会議員との行政懇談会



▲ 行政懇談会（10月27日）

うすずみ桜を縁とする友好都市提携32年の絆のもと、本巣市議会議員13人が来庁し、「子育て・教育政策」について意見交換を行い、市政発展に向け交流を深めました。

みんなの声

日々の暮らしで思うこと
まちづくりに期待することなど
議会モニターさんの声を聴きました



このまちの未来のために

議会モニター
山﨑 侑（やまざき ゆう）さん
（NPO法人のっぽえちぜん）

武生青年会議所に所属し、青少年育成や地域課題の解決に向けた活動に取り組んでいます。このまちで育ち、これからも住み暮らすこの場所だからこそ、感謝と誇りを持ってこのまちの未来を良くする活動を続けていきたいと思います。

議会モニターとして議会を傍聴する中で、議会の温度感や施策・予算が形になるまでの過程を知り、これまで気づかなかった地域課題について考えるきっかけとなりました。

一人一人が家族や仕事、勉強、余暇など、それぞれの人生を存分に楽しみながら幸せに暮らせる、そんな越前市であってほしいと願っています。

開かれた議会を願って



議会モニター
國平 喜世志（くにひら きよし）さん
（公募委員）

ＰＴＡ活動や区長の経験などを通して、多くの方々と関わる中で、越前市には地域を支える素晴らしい方々がたくさんいると感じています。そうした方々との出会いを大切にしながら、学びを深め、情報を共有していければと思っています。

議会を傍聴し、インターネット中継も視聴する中で、市民に必要な情報が必ずしも分かりやすく届いていないと感じました。原因を見極めながら声を届け、より開かれた議会につながることを期待しています。

越前市のまちづくりは、一人一人がそれぞれの分野で活動を続けることで支えられていると感じており、私自身も引き続き、目の前の活動一つ一つに地道に取り組んでいきたいと思います。

12月定例会は
11月27日(金)
～12月22日(火)

詳しい会期日程は、
ホームページをご覧ください。

議会中継

こしの都ネットワークや、インターネット、スマートフォンでもご覧いただけます。
こしの都ネットワークで議会中継を見るときは、
「**092チャンネル**」です。
インターネット、スマートフォンで見るときはこちら →

LIVE

市議会ホームページ

委員会のインターネット配信

定例会中の委員会について、配信を見るときはこちら →

市議会公式チャンネル

広報広聴推進特別委員会

◎委員長　○副委員長

◎畑　勝浩　　○吉澤　尚史
井上　真知子　　若宮　浩一
加藤　吉則　　大久保　健一

問合先
市議会事務局
TEL（22）3426

題字揮毫者からメッセージ



武生東高校
山本 真帆（やまもと まほ）さん

文字の大きさを変化させて大きい文字が強調されるように書きました。また、越前市が今より活気づくようにと文字を太く書きました。若い人が議会に少しでも興味を持ってもらえるようにしたいです。